

# 岐阜県の プラスチック

- ・ 射出成形の実技技能検定を実施…技能士誕生をめざす  
「全国の射出成形技能士は1級1万人、2級4万人超える」
- ・ 『ブロー成形』『金型製作』などの受検申請を受付
- ・ 特集・BCP（事業継続計画）はなぜ必要か
- ・ 工業組合事業に対するアンケート調査（中間報告）
- ・ 地震津波対策進む『浜岡原発』。10月3日に見学会。

産業技術センターで実施した射出成形の実技検定



## 射出成形の技能検定実施…技能士誕生めざす

# 実技受検者は 1 級41人 2 級68人

## 1 級は過去最高、より高い資格へ挑戦

工業組合が職業能力開発協会から受託実施する平成24年度前期技能検定の実技検定『プラスチック成形・射出成形作業』は、6月19日から8月3日までの28日間、前年同様に県産業技術センター実験室で行った。実技受検者は1級41人、2級68人の前年並みの高水準で、とくに1級受検者は過去最高人数を記録しており、より高い資格をめざした。

続く8月6日から2日間の採点審査会、8月19日の学科試験を経て9月28日（金）に合格者の発表が行われる。

### 受検者総数は 前年と同水準

今年度のプラスチック射出成形作業受検者は組合員企業、員外企業、個人から学科・実技を合わせ126人が応募した。このうち実技受検者は1級が41人（学科と実技は23人、実技のみは18人）2級は68人



（学科と実技44人、実技のみ24人）の合計109人にのぼった。

受検者総数は前年並みの高水準で、1級受検者は過去最高人数を記録した。

### 不況時こそ技術レベルのアップを

これは「2級検定に合格し、実務経験など1級受検資格を得た技能者が増えた」「企業も不況時こそ技術レベルのアップを図ろうと、従業員により高い資格獲得を奨励している」さらに「金型、電機、自動車など、他業種や員外企業

1級受検者はPS、PCの2樹脂を使用して各40個を成形

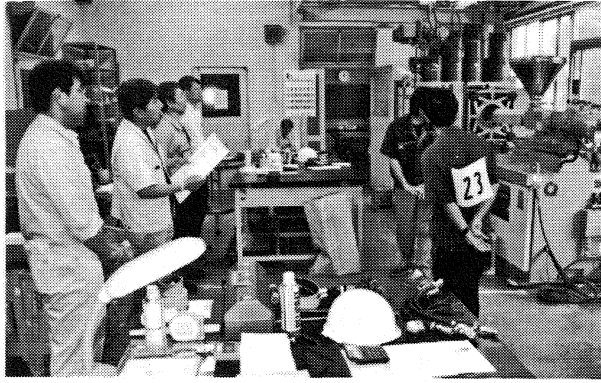
からの受検者が増えた」ことが1級受検者の増加理由にあげられる。

### 1 級 2 級ともに 2 樹脂を使い成形

実技検定は日精、住友の射出成形機2機種を用い、6月19日から28日間（いずれも月、土、日曜日を除く）の午前と午後、1日4人ずつ実施した。時間配分の都合で主として午前中に2級を、午後に1級の検定を実施した。

検定問題は前年と同じで、1級は「3時間10





検定開始に先立ち検定委員が詳しく説明

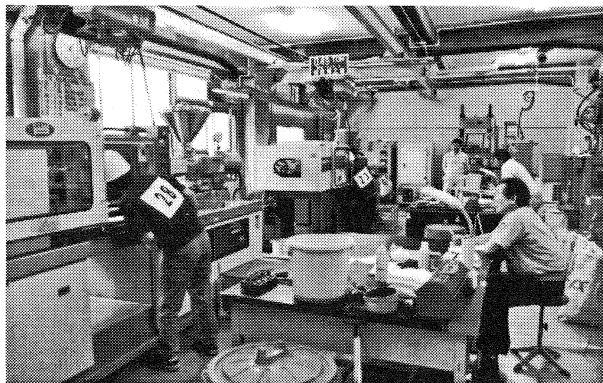
分以内（延長時間30分）にポリスチレン、ポリカーボネートの2樹脂を使用し箱状の成形品を各40個製作し、成形収縮率計算票と材料歩留まり率計算票を作成した。

2級の問題は「2時間30分以内（延長時間30分）にポリスチレンとABSの2樹脂を使用し、箱状の成形品を各20個製作」した。

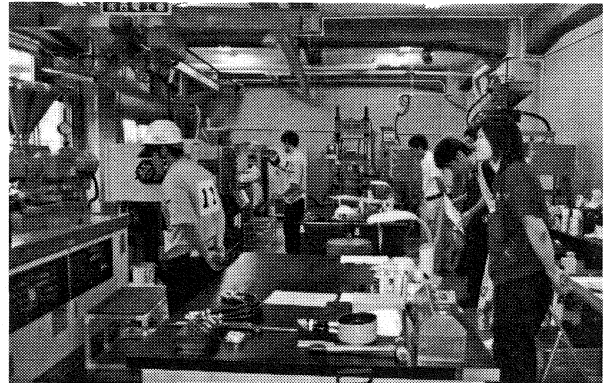
### 全員に安全靴着用を義務付ける

検定開始に先立ち検定委員は試験問題、検定時間や注意事項を説明した後、「日頃の技能と知識をフルに発揮、定められた時間内に成形品の良、不良を素早く見極め、合格をめざしてほしい」と励ました。また、今年度から受検者の安全靴着用が義務付けられ、事前チェックした。

受検者は成形作業開始の合図とともに①射出時間や金型冷却時間の設定②射出速度や型締力の設定③樹脂加熱時間の設定—など各種の成形



成形条件を設定、成形機に金型を取付ける



実技検定の開始直前。受検者緊張の一瞬

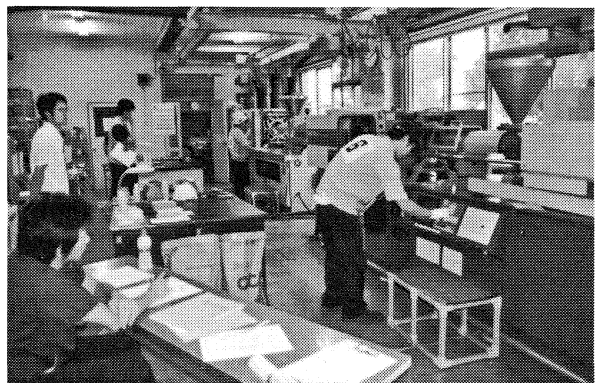
条件を成形機に指示し、金型を取り付けた。

この間に検定委員と検定補佐員は「クレーン操作は安全確実か」「安全扉の開閉は…」「工具類や消耗品は正しく使われたか」など、動作項目や作業態度を減点方式で記入した。

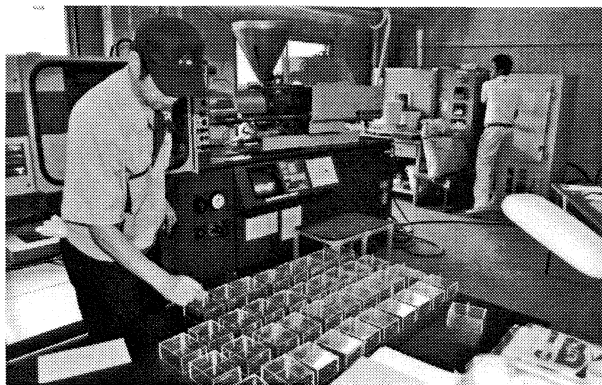
受検者が成形作業で苦心したのは「成形不良と対応策」で①段付け部分のヒケ②ウェルドマークの適正化③フローマークの発生—などで、射出速度を上げたり下げたり、金型や樹脂温度を上げたり下げたり、幾度もチェックを繰り返した。また、成形時にはノズルから出るモチロスや樹脂替え時のパージ材ロス、さらに成形不良品がかなり発生する。このため受検者全員が即・再生原料となるように分別回収した。

### 操作説明会と技能確認講習行う

工業組合は実技検定実施前の5月28日に受検者全員参加の知識説明会、さらに5月29日か



チェックする検定委員や補佐員の目が光る



成形条件を変えながら1個1個成形する

ら6日間は『成形操作説明会』で、12グループに分けて操作実技を説明した。

担当した講師は①受検の留意事項②成形条件とその他③成形材料とクレーンの取り扱い④不良成形品とは⑤日精・住友の成形機取り扱いをテーマごとに説明した。受検に当たっての注意事項では講師が「昨年度の岐阜県合格率は1級23.5%、2級26.9%で、いずれも全国平均を下回った。近県の愛知も三重も毎年多くの技能者が受検し、その合格率は高く、多くの技能士か



ヒケやウェルドマークの適否を確認する

誕生している」さらに「岐阜県も日頃の実力を発揮して合格し、一人でも多く技能士になって岐阜県の成形加工業界に貢献してほしい」と呼びかけた。

また6月7日からは希望者を対象に『技能確認講習会』も開催した。これは「成形機操作には習熟しているが、日頃使用している会社の使用機種と検定機種が異なるため。検定機種に慣れておきたい」という声に応えたもので、1日4人ずつ26人が受講し、本検に備えた。

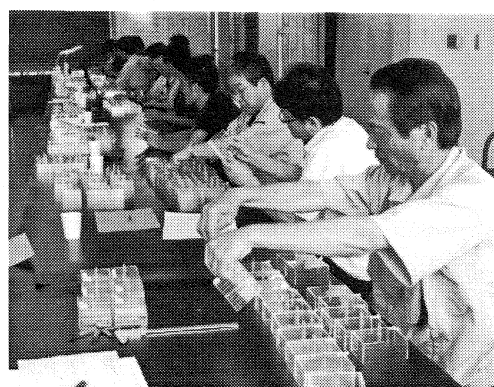
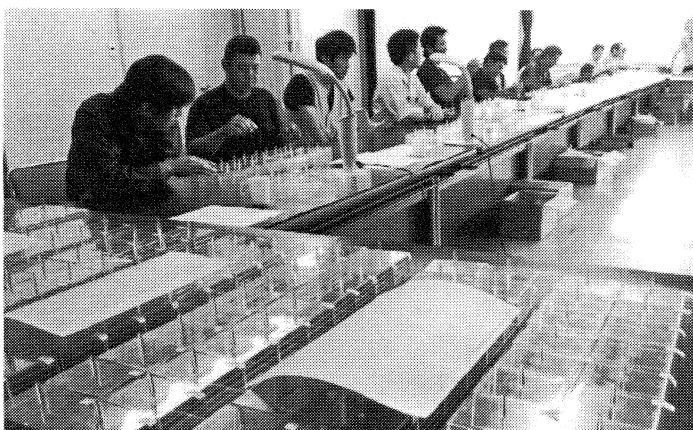
## 検定委員、補佐員が集まり成形品の採点審査会を開催

実技検定は8月3日に終了し、続く8月6日から2日間、県産業技術センター講堂に検定委員、補佐員が集まって採点審査会を開いた。

審査会は受検した1級、2級109人の成形品を受検番号順に並べ、箱状の成形品（大きさ100×75×45<sup>mm</sup>）を20項目の審査基準と照合

しながら1個1個審査、採点表に記入した。この採点表は、実技検定時に検定委員、補佐員がチェックした動作26項目、作業態度13項目を総合し、実技検定の合否が決められる。

残る学科試験は8月19日全国同時に行われ、9月28日（金）に合格者が発表される。



検定委員、補佐員による採点審査会

# 技能検定『プラスチック射出成形作業』は大盛況 全国の合格者総数は1級1万人、2級4万人の大台超える

技能検定『プラスチック成形・射出成形作業』は昭和43年度（1986年）から全国で始まり、今日では全国47都道府県で実施される。岐阜県は6年遅れて昭和49年度から開始、今年度も全国同時進行で実施している。

射出成形作業の検定で誕生した全国の技能士は、1級が1万人の大台を超えて10,226人、2級は4万人の大台を超え40,135人にのぼった。岐阜県（推計）で合格、技能士の資格を得た人は1級154人、2級610人になった。

現在、全国で実施されるプラスチック成形関連の検定職種は『プラスチック成形・特級』『射出成形作業』『圧縮成形作業』『ブロー成形

作業』があり、岐阜県では圧縮成形作業の検定は実施していない。

射出成形機の普及と成形加工業界の成長発展はそのまま検定事業に反映し、射出成形作業の受検者は、年々増加してきた。近年は全国で1級が1,800人前後、2級は3,500人前後の技能者が検定試験に応募、挑戦している。

## 愛知が群を抜く技能士誕生県

全国で最も多い技能士誕生県は愛知が群を抜き、前年度は1級が①愛知②三重③長野④広島⑤大阪⑥静岡⑦群馬一の順。2級は①愛知②三重③静岡④長野⑤大阪⑥東京⑦広島一の順。

## 『プラスチック射出成形作業』の近県合格者状況（平成22・23年度比較）

### 1級プラスチック成形技能士(射出成形作業)

都道府県	受検申請者 総数		学 科 試 験						実 技 試 験						技 能 士 合格者数		合 格 率 %	
			申請者数		合格者数		合 格 率		申請者数		合格者数		合 格 率					
年度	22	23	22	23	22	23	22	23	22	23	22	23	22	23	22	23	22	23
富山県	66	52	37	26	32	23	86.5	88.5	64	52	20	3	31.3	5.8	22	3	33.3	5.8
石川県	25	19	10	6	9	6	90.0	100.0	23	19	6	6	26.1	31.6	7	6	28.0	31.6
福井県	14	8	13	5	11	2	84.6	40.0	10	8	7	4	70.0	50.0	9	2	64.3	25.0
山梨県	37	33	14	14	7	8	50.0	57.1	37	30	2	5	5.4	16.7	2	4	5.4	12.1
長野県	109	99	45	59	32	40	71.1	67.8	106	95	36	27	34.0	28.4	35	28	32.1	28.3
●岐阜県	43	34	29	13	19	7	65.5	53.8	40	30	12	8	30.0	26.7	12	8	27.9	23.5
静岡県	129	111	64	47	45	26	70.3	55.3	118	98	26	24	22.0	24.5	28	25	21.7	22.5
愛知県	344	304	166	138	103	81	62.0	58.7	319	280	91	75	28.5	26.8	87	79	25.3	26.0
三重県	89	104	44	60	29	36	65.9	60.0	85	100	23	47	27.1	47.0	23	40	25.8	38.5
滋賀県	39	46	21	23	13	16	61.9	69.6	35	43	3	11	8.6	25.6	5	10	12.8	21.7

### 2級プラスチック成形技能士(射出成形作業)

都道府県	受検申請者 総数		学 科 試 験						実 技 試 験						技 能 士 合格者数		合 格 率 %	
			申請者数		合格者数		合 格 率		申請者数		合格者数		合 格 率					
年度	22	23	22	23	22	23	22	23	22	23	22	23	22	23	22	23	22	23
富山県	105	105	81	80	56	64	69.1	80.0	89	95	51	53	57.3	55.8	55	57	52.4	54.3
石川県	45	33	25	21	22	14	88.6	66.7	41	30	23	16	56.1	53.3	25	16	55.6	48.5
福井県	14	10	13	10	10	5	76.9	50.0	10	9	10	5	100.0	55.6	10	4	71.4	40.0
山梨県	81	90	63	71	37	38	58.7	53.5	57	66	31	23	54.4	34.8	29	22	35.8	24.4
長野県	164	165	112	130	90	93	80.4	71.5	149	161	86	68	57.7	42.2	92	62	56.1	37.6
●岐阜県	90	104	70	72	46	28	65.7	38.9	68	76	23	34	33.8	44.7	25	28	27.8	26.9
静岡県	200	201	142	132	106	85	74.6	64.4	169	172	91	85	53.8	49.4	93	81	46.5	40.3
愛知県	729	744	446	465	285	278	63.9	59.8	617	641	249	263	40.4	41.0	248	247	34.0	33.2
三重県	129	170	118	156	88	102	74.6	65.4	109	138	76	104	69.7	75.4	74	90	57.4	52.9
滋賀県	73	68	45	45	33	31	73.3	68.9	68	64	32	27	47.1	42.2	32	22	43.8	32.4

特集・BCP（事業継続計画）はなぜ必要か

# 防災と異なる事業の継続・早期復旧 — 中小企業や内陸県では対応が遅れる —

企業のBCP（事業継続計画）はなぜ必要か。米国の9・11テロ、日本では3・11震災に始まる大事故・大震災を機に、企業は危機管理の必要性に迫られている。BCPとは災害や事故などの非常事態発生時に重要業務を中断・停滞することなく継続させる計画。

国では内閣府『事業継続ガイドライン』中小企業庁『中小企業BCP策定運用指針』を基にNPO法人事業継続推進機構が事業継続の普及活動を展開している。岐阜県では大垣市に『BCP研修・訓練センター』を新設し岐阜県モデルの普及事業を開始した。工業組合青年部はこうした動きに『企業におけるBCP（事業継続計画）』をテーマに研修会を実施した。

## 中小向けガイドを作り普及

### 「NPO法人事業継続推進機構」

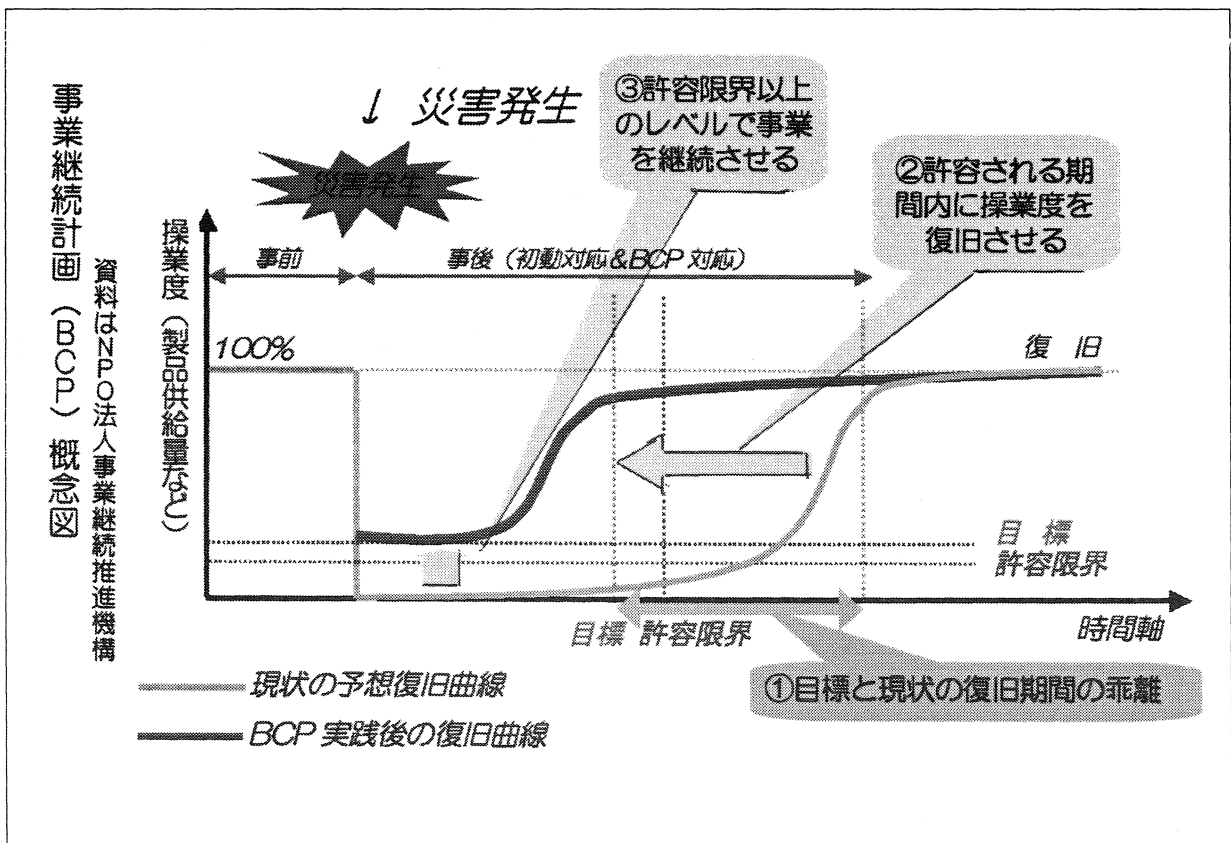
《国の対応》まずBCとは、ビジネス・コンティニューイティー＝事業継続。災害や事故など不測の事態で被害を受け、重要業務が中断しても許される時間内になるべく早く復旧させる。

BCMとはビジネス・コンティニューイティ

ー・マネジメント＝BCを達成するための管理プロセス。事業継続計画（BCP）を作成し、実施及び運用、教育・訓練、点検、経営者による見直しなどの管理全体を指す。

最後にBCPとは、ビジネス・コンティニューイティー・プラン＝BCを達成するための計画書で、体制や手順、事前対策のこと。

国に代わり事業継続を推進する事業継続推進

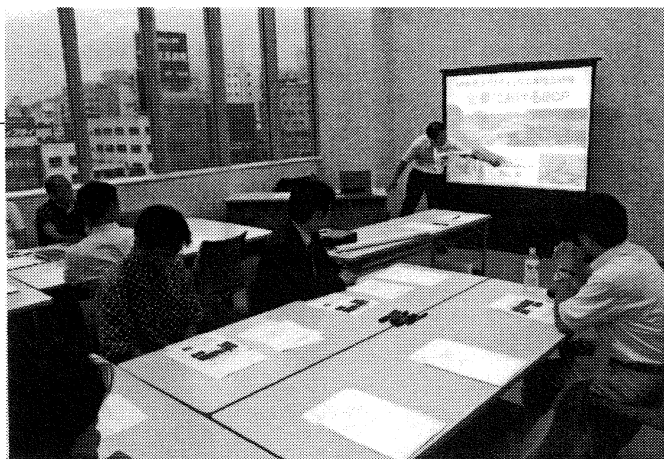


## 「岐阜モデルの事業計画を」 組合青年部がBCP研修会を開催

工業組合青年部は7月21日、十六プラザ研修室に県産業経済振興センターの西山晃先生を招いて『企業におけるBCP』をテーマに研修会（写真右）を行った。

研修内容は①企業BCPはなぜ必要か②BCPを作る前に考えること③BCP策定プロセスと基本事項④実効性のあるBCP⑤BCPに必要な事柄ーで分かり易く解説してもらった後『事業継続のために何をすればよいのか』をテーマに討論した。

西山講師は「岐阜県は津波の不安が無く、



東海・東南海・南海地震の震源地から遠く危機管理への関心度は低い。しかし過去には濃尾震災など大型震災が発生しており、不測の事態に備え、従来の防災とは異なるプラスチック業界らしい岐阜モデルを策定してほしい」とアドバイスした。

機構は、ツール『中小企業BCPステップアップ・ガイド』を中小企業者に提供している。内容は災害・事故に備えたBCPの作成と運用に向けた取組みを①事業継続の基礎になる防災対策の実施（28頁）②重要業務を認識し簡略BCPの策定（35頁）③本格的なBCPに向けて進む（19頁）ーをステップする3部からなる。

ガイドは第1部を実施し社内に定着した後、第2部へ進むことで効果が期待できる。大切なことは「各部署のトップから個々の社員まで、大災害や大事故にあっても企業の重要業務を継続させる」という意識の定着にある。（ガイドの入手については工業組合まで）

## 研修・訓練センターを開設 「大垣市ソフトピアジャパン内に」

《県の対応》岐阜県は全国に先がけて大垣市ソフトピアジャパン・ドリームコア5階に『BCP研修・訓練センター』を開設している。

全国初の試みで、センターは研修室を備えており、BCP普及員が企業の災害対応や事業継

続に必要な①BCP岐阜県モデルの普及②災害模擬訓練③簡易なBCP策定ーまで指導している。開設は今年度内で、受講の問い合わせはTEL0584-82-5352かFAX0584-82-5365まで。

## BCPは企業存続のカギに 「産業経済振興センター西山講師」

《研修会》青年部研修『企業におけるBCP』で西山講師は「防災計画と事業継続計画の違いは大きい。防災は“人的・物的被害の抑制、”が目的で事業継続は“事業の復旧・再開の迅速化、”にある。早期復旧すれば顧客や利害関係に迷惑をかけず、地域や社会への貢献になる」。

さらに「南海トラフに始まる巨大地震などの災害リスクは50種類にもものぼり、企業を取巻く危機環境は変化し安閑としておれない。災害の発生でサプライズチェーンが寸断されれば、原材料入手は困難となり生産は停止・停滞する。いち早く災害に対応できた企業と、そうではない企業との差は広がる。BCP策定の有無と実効力の差が企業存続のカギだ」と話していた。



# ブロー成形など各職種の技能検定受付を開始

「9月10日から9月28日まで。受検申請書は組合事務局へ」

今年度の後期技能検定試験の実施要領がまとまり、工業組合は9月10日（月）から9月28日（金）まで受検申請を受付ける。

工業組合が実技検定を受託実施するのは『プラスチック成形ブロー成形作業』と『プラスチック成形用金型製作作業』の1・2級、2職種で、日程の詳細は決まりしだい受検者に直接連

絡される。ただし受検希望者数によっては検定試験が実施されない場合もある。

その他の関連職種で特級が『プラスチック成形』『機械検査』1・2級では『機械検査』『機械・プラント製図』さらに3級では『プラスチック成形射出成形作業』『機械検査』が予定されており、組合で受付業務を行う。

## 成形知識から加工までの初任者研修

### 新入社員などが対象。先着順に募集

工業組合は昨年度開始した新事業『プラスチック成形初任者研修会』を今年度も実施する。研修日程は10月23日（火）に全員参加の知識講習を実施し、10月30日（火）11月6日（火）11月13日（火）の3日間のいずれかの日の終日、実技講習を受ける。

新入社員などが対象で、プラスチック成形に関する基礎知識から成形機の操作・加工、さらに不良品対策まで知識と技術を2日間で身に付けてもらう。募集人員は先着順で6人。

講師は岐阜大学工学部の武野明義准教授と産業技術センターの指導員、職員が担当する。会場は産業技術センターで、成形機は日精と住友の2機種を使用する。

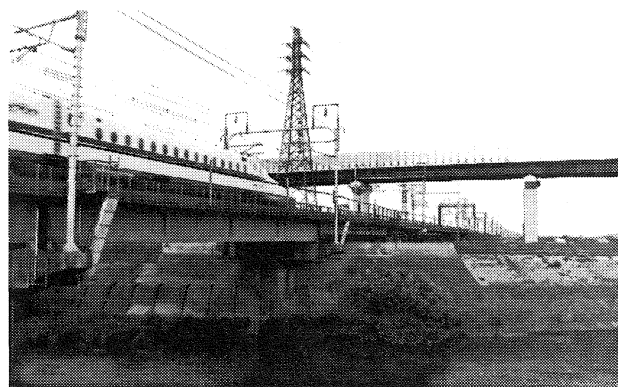
## 大垣西IC～養老JCT 開通

### 東海環状自動車道西回りルート

建設が進んでいた東海環状自動車道西回りルート『大垣西IC～養老JCT間』が9月15日に開通する。供用開始区間は東海道新幹線と国道21号線を高架で超える暫定2車線、6.3kmに過ぎないが、新しい西濃の玄関口として経済に観光に早くも期待されている。

東海環状自動車道西回りルートは、関広見ICから四日市北JCT間約77.3km（岐阜県内約53.3km）で、2020年度末の前線開通をめざし国交省と中日本高速道路が建設を進めている。

大垣西IC～養老JCT間の開通に続いて関広見IC～高富IC区間と、大野神戸IC～大垣西



IC間の準備工事が始まっている。大垣市など2市6町では開通記念シンポジウムやハイウェイウォーキングを開催し、東海環状自動車道の早期全線開通促進運動を盛り上げている。

（写真は、大垣市十六町地先。高圧送電線、開通する環状自動車道高架、東海道新幹線、相川の四つのインフラが立体交差する珍しい箇所）



## 名古屋プラ工業展開催

「10月2日からポートメッセなごやで」

『名古屋プラスチック工業展』と『機能材料技術展』が10月2日（火）から3日間、名古屋国際展示場ポートメッセなごやで開催する。開催テーマは『次世代産業を見据えた高機能化…プラスαチックな社会を目指して』で、震災・円高不況を吹き飛ばそうと準備が進んでいる。

プラスチック展は中部プラスチック連合会、中部日本プラスチック製品工業協会、日刊工業新聞社が主催、また機能材料技術展は日刊工業新聞社が主催する。プラスチック工業展には中部各県のプラスチック関連団体が協賛、当工業組合も協賛する。

### 岐阜市で岐阜県発明くふう展開く

今年の『岐阜県発明くふう展』は10月26日（金）から4日間、岐阜市内のマーサ21で開かれる。県内主力産業として当工業組合も協賛し工業組

合理事長賞を贈り組合員企業も出展参加を予定している。

展示は1階マーサスクエアは企業関係、ロビーは児童・生徒の発明くふう関係絵画とポスター、4階マーサホールは一般募集の発明くふう作品と児童・生徒の発明くふう作品の展示に会場が分かれる。



### 東京ビッグで中小企業総合展開催

中小企業基盤整備機構は10月10日（水）から3日間、東京ビックサイト東1・2・3ホールで『中小企業総合展 JISMEE2012』を開催する。さる5月末にインテックス大阪で開いた『中小企業総合展かんさい』の関東版で、日本最大級の中小企業ビジネス・マッチングイベントである。前年の来場者実績は31,000人（中小企業者57.1%、製造業32.2%）だった。



# 存在意義は①相互連携②実施事業の有益性③付き合い継続

## 『工業組合事業に対するアンケート調査』の中間報告

工業組合は災害・金融不安・円高による輸出不振など、混沌とする経済社会の中で組合運営のあり方を探るため、さる6月1日付けで『工業組合事業に対するアンケート調査』を実施した。調査内容は①組合事業への参加状況②組合事業に対する評価③組合事業への新規提案④企業にとって組合の存在意義—の4テーマ、13項目。次は83組合員中41組合員の回答を集計した中間報告で、工業組合の事業運営に反映させていく方針である。

### 会報は比較的読まれている

《組合事業への参加状況》主力10事業の「参加」または認知度の多い順は①組合会報②総会・懇親会③新年互礼会④射出成形初任者研修会—が40%以上の回答。次いで⑤技能検定・射出成形講習会⑥工場見学⑦労働保険事務代行⑧国・県・中央会からの電子メール⑨親睦ゴルフ⑩技能検定・ブローと金型講習会—の順。

組合からの電子メールは「欠かさずチェック」するのではなく「見出しを見て必要な場合」や「特定」のサイトのみ見るのが大半。労働保険事務代行は「知らなかった、利用したい」とする企業が28%もあった。親睦ゴルフ、工場見学、互礼会は半数以上が「参加したことがない」とし、参加企業を増やす努力が必要である。

### 評価が高い射出成形の関連事業

《組合事業に対する評価》20事業を「継続」「廃止」に分けて評価してもらうと「Eメールによる各種情報提供事業」「技能検定・射出成形受託事業」「組合会報」「技能検定・射出成形講習会」「総会や互礼会時の講演会」「新年互礼会」「ホームページ事業」「射出成形初任者研修会」「企業視察」「総会時の懇親会」は60%以上が継続を希望している。

また「技能検定・金型製作やブロー成形」などの事業実施を知らないとする回答がかなりあった。「事業廃止」との回答は「親睦ゴルフ」「冠婚葬祭対応」「総会後の懇親会」などがあ

り、他に「その他」の回答も目立ち、新組合事業への取り組みを示唆しているようだ。

### 新目標定め積極的に業界売込め

《組合事業への新規提案》組合への「個別意見や要望」をまとめると「参加企業が少ない事業は取り止め、他団体・他業種との交流、協業化や情報収集ができる事業に振り向けてほしい」「各企業の後継者育成を組合主力事業に据え、また青年部活動の支援に力を入れてほしい」とする企業や組合の後継者対策、さらに「ホームページ発信など対外PR活動を積極的に行い、組合や企業を広く社会にアピール」したり「来年は組合設立45年、当初の目的は達成したので、今後は業界繁栄に向けた新目標を定めて事業を展開してほしい」と現行事業に将来を見据えた新事業の提案や意見があった。

### 業界相互のつながりに存在意義

《組合の存在》企業にとって「組合の存在意義や組合に対する思い」は①組合員相互のつながり48%②実施事業の有益性20%③過去からの付き合いで継続加入16%④深く考えたことがない11%⑤役割を終えたので再考すべき5%—の順。回答の半数近くが「業界のつながりに必要」とし「実施事業の有益性」を大きく上回った。

中小企業団体組織化法が制定され50年を経過しており、アンケート調査を機会に「工業組合活動や事業のあり方を再構築する時期」に来ているようだ。

視察研修会は10月3日に実施  
中部電力の浜岡原発  
電力需給のカギ・津波対策工事など

工業組合は10月3日（水）団体バスによる企業視察研修会を実施する。視察先は中部地方の電力需給のカギをにぎる『中部電力浜岡原子力発電所』（静岡県御前崎市）で、当日午前8時、JR岐阜駅北十六プラザ前を出発する。

### 進む海拔18mの防波堤新設工事

浜岡原発は昨年5月から政府要請を受けて全面停止し、総工費1,400億円で海拔18m、延長1.6kmの防波堤新設など30項目の地震・津波対策工事を進めている。さる6月末には「今年末としていた対策工事を1年延長、来年末に完了したうえ、再稼働の手続きを考える」と発表しており、電力供給バランスのカギをにぎる大型発電所だけに成否が注目されている。

### 原子力館や新エネ・ホールを見学

見学コースは中部電力側と検討中で、発電停止中でなければ入れない施設や工事現場を視察し、地震・津波対策工事の説明を受ける予定。

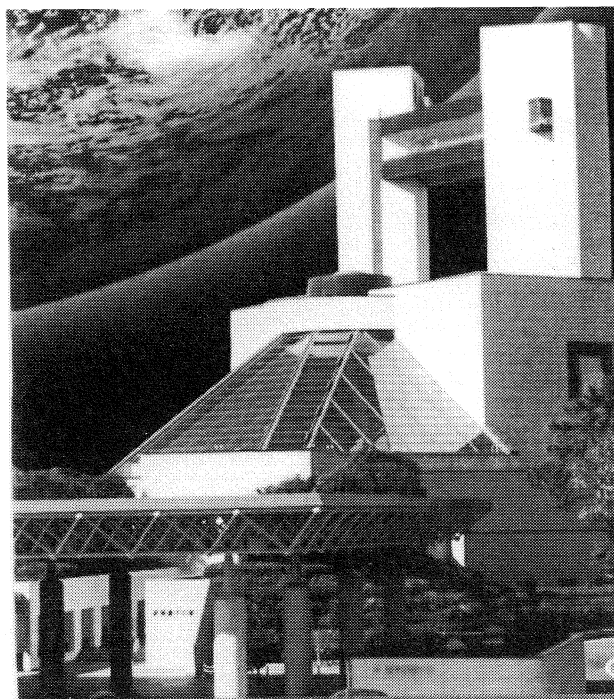
## 事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□10月28日は岐阜県地震防災の日です□

○…岐阜県は濃尾地震を風化させないために10月28日を『岐阜県地震防災の日』さらに毎月28日を『岐阜県防災点検の日』と定め、迫る地震に防災対策を呼びかけています。

工業組合は巨大災害と関連して会報に『BCP（事業継続計画）はなぜ必要か』の特集記事を組みました。また組合青年部は研修会『企業



浜岡原子力館と高さ62mの展望台

発電所の付属施設見学では『浜岡原子力館』と『エネルギーホール』を予定している。原子力館では原子力発電の仕組みや放射線・地震対策を映像と模型で説明を受ける。エネルギーホールは原子力館に隣接した新施設で、1階は御前崎風力発電所を展示・紹介し、2階は風力発電、太陽光発電、燃料電池、バイオマス発電の新エネルギー発電で、仕組みや設置場所を映像・カットモデル・マップで説明を受ける。

におけるBCP』を開催、続いてプラスチック業界モデルの策定に取り組む計画です。

## 岐阜県のプラスチック 2012年 第209号

平成24年9月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号  
(岐阜産業会館4階)

電話(058) 272-7173

FAX(058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

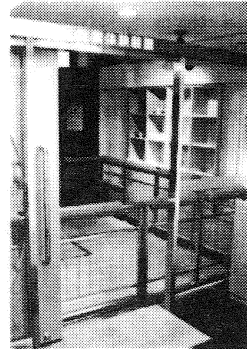
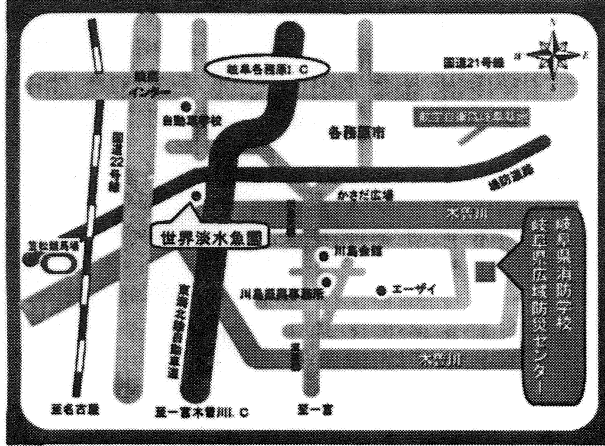
発行責任者 大塚 忠秋

# 岐阜県広域防災センター

～実際に地震を体験してみよう～

## 岐阜県広域防災センター

自然災害や火災から県民の命と暮らしを守るため、防災知識の普及向上や防災用資機材の備蓄等を目的とした施設です。濃尾地震や兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)などの過去の地震や、将来起こるといわれる東海・東南海地震の揺れを体験できます。



【地震体験装置】

震度7までの揺れを体験できます。  
[いざというとき慌てないために、体験してみませんか]

- 所在地 各務原市川島小網町2151
- 入館料 無料(訓練実習も無料です)
- 開館日 火曜日～金曜日、毎月第3日曜日  
\*祝日・振替休日、年末年始(12/28～1/4)を除きます
- 開館時間 9:00～16:30

お問い合わせ

岐阜県広域防災センター

●TEL 0586-89-4192 ●FAX 0586-89-4193

\*10名以上の団体で来館される場合は、予約をお願いします。

全てのニーズにお応えするJPP  
技術力で信頼にお応えするJPP

# Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

### ノバテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズにお応えするポリプロピレン

### ウィンテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された新世代ポリプロピレン

### ニューゴン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクター-TPO

### ニューストレン®

高い熔融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

### ニューフォーマー®

高い熔融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用ポリプロピレン

### ファンクスター®

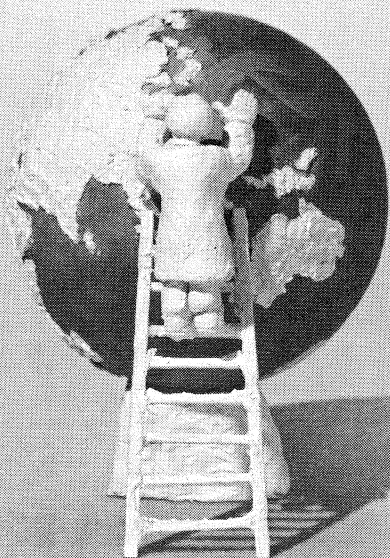
射出及び熔融圧縮成形向け高性能ガラス長繊維強化ポリプロピレン

**PP** 日本ポリプロ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500



地球最適化研究所。



20世紀から持ち越されたさまざまな問題を解決し、トータルなライフステージを最適化するのが21世紀の化学の仕事です。三菱化学グループは、世界でも比類のない幅広い技術フィールドをカバーする先端技術多面体です。先端機能材料やナノテクノロジー、有機エレクトロニクス、デバイス。ヒューマン・ヘルスケアでは、ゲノム創薬やタンパク質機能解析…など、多数の分野にチャレンジしています。私たちはグループの技術力をベースに、社会のニーズに応えるソリューションを提供しながら、21世紀の夢をスピーディに実現します。

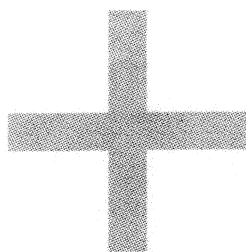
▲三菱化学株式会社  
Telephone:03-6414-3000  
URL:http://www.m-kagaku.co.jp

ShinEtsu

信越シリコーン

# またひとつ、新機能。

【プラスアルファ】



ヒラメキを糧に新たな機能をプラス

信越シリコーン

「こんな素材があったらいいのに!」「こんな機能をプラスできれば!」…そんないくつものヒラメキに出会い、信越シリコーンはこれまでとは違う個性を持つ、新しい機能を付与した高機能シリコーン製品を開発してきました。これからも、さまざまなご要望にお応えし、お客様の製品に+αの付加価値をつけるシリコーンを提供してまいります。

【新しい機能で製品に付加価値をプラスするシリコーン】

■ 樹脂改質用シリコーン

オイル、パウダー、シランカップリング剤、レジンなど。樹脂に潤滑性・耐摩耗性、耐衝撃性・難燃性・成形性などの付与に

\*取り扱いが容易で分散性に優れたシリコーンマスターバレットもあります。

■ シリコーン離型剤

オイル、ペースト、エマルジョン、スプレーなど。

離型性はもちろん、つや出し、表面保護、潤滑性向上などに

■ シランカップリング剤

合成樹脂、塗料、接着剤などの機能向上に

■ シラン

セラミックスの合成、無機物質の表面改質、樹脂改質などに

信越化学工業株式会社

〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-5-28 近鉄新名古屋ビル  
名古屋支店 シリコーン部 (052)581-6515

## 雨水利用タンク

# ホームダム

RWT-250

### ご家庭で雨水の有効利用に!

異常気象からの水不足、あるいは集中豪雨…。水の大切さを見直す時が来ていると思います。自然のめぐみ雨水をもっと活かして使うことを考えましょう!!庭の草・花・木への水やり、洗車などまだまだたくさん活用出来ます。



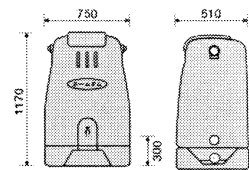
**1** 専用付属部品で簡単施工  
(丸型トイレ 55%・60%・75%)

**2** ドレン付で簡単清掃

**3** 架台付きです  
(別架台はオプション)

**4** 水道料金の節約  
(例) 某市で料金200円/m<sup>3</sup>を納めている  
ご家庭では、  
・ホームダム1杯(250ℓ)約50円  
・週に2杯溜めると約400円/月  
・年間では約4,800円  
が節約出来ます。

**5** 雨水タンク転倒防止用  
Uポート金具付です



#### 製品仕様

容量	250ℓ
重量	約22kg
材質	超高分子量ポリエチレン



## コダマ樹脂工業株式会社

本社 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4141  
 本社営業部  
 容器包材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4992  
 産業資材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-5055

東京支店 〒104-0031 東京都中央区京橋1-16-10(オークビル京橋) TEL(03)3564-5266  
 大阪支店 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番2号(新サンケイビル階) TEL(06)6341-0015